

吾は父の宝

居宅介護支援専門員 小野みどり

夏井いつきという俳人をご存じだろうか。愛媛県愛南町出身の六四歳。木曜午後七時からのテレビ・バラエティ番組『プレバト』の「俳句の才能査定ランキング」コーナーで著名人のゲストが作った俳句を評価・添削する毒舌先生。全国的な俳句ブームに火をつけたといわれる。

この先生の名を新聞のテレビ欄で目にとると、観ることにしている。夏に松山で開かれる俳句甲子園もロンドンとの俳句の旅も興味深かった。

そんな夏井いつきさんが十二月七日、NHKテレビのプロフェッショナル仕事の流儀に登場した。俳句作りの現場の密着取材。ご実家の片づけの場面、最初は「いるものはないから、つぶしちやえばいいのよ」と

言っていた。なのに、目にする物にいつの間にか引き込まれていった。へその緒がはいつていたはずの箱は空だった。数日たって夏井さん、句があふれてきた。筆ペンで細長い紙にすらすらと書いていく。次から次へとできてくる。スタッフから十句に絞るように言われた。選んだ句の最後は

『吾は父の 宝であった 秋の雲』

私の父は昨年他界した。思えば、大切に育ててくれた。自分が嫌になった時、つぶやく。

『吾は父の 宝であった 秋の雲』

夏井さんも私も、仕事で出会う人も同じ。



利用者さんにも父がいた。父の宝物だった。大切にしよう。優しくしよう。